

◇第2回消費生活川柳グランプリの紹介◇

消費生活川柳の目的

次の世代への消費者教育の機会の充実を図り、川柳を通して消費者トラブルなどについて考える機会を設けるため。

小学5年生

リモートで会える笑顔の祖父と祖母

緑小学校



コロナ禍で、これまでの「あたりまえ」が大きく変化した世相が想像でき、広く共感できます。また、困難な状況の中でも、大切な家族との交流で楽しい気持ちになれた情景が、巧みに読まれている点。

中学3年生

軽率に書いたコメント 深い傷

啓北中学校

携帯電話やSNSの利用により、何気ない言葉の発信が問題となる場合や、些細なことで人間関係が壊れる原因となること、鋭く表現された点。

公共施設や食料品店のご協力で消費生活川柳を市内各所に掲示しました。



みんなの消費生活展において、消費生活川柳の表彰式を行いました。



くらしのニュース12月号

2022年(令和4年) NO. 498 令和4年11月25日発行
発行/苫小牧市市民生活部市民生活課 ☎32-6306(直通)

第49回みんなの消費生活展を開催しました

大盛況
御礼

10月22日(土)10時から16時まで、苫小牧市民活動センターにおいて、第49回みんなの消費生活展を開催し、前年を超える多くの皆様のご来場がありました。

ステージプログラムでは、藤幼稚園の年長さんたちによる大声大会、演劇集団「群'73」による、赤ずきんちゃんの童話を基にした悪徳商法の演劇、高校生を交え「成年年齢引き下げの現状や課題」をテーマとしたパネルディスカッションなど、多彩で充実した内容となりました。



物販コーナーでは、野菜、リメイク、リサイクル品、雑貨の販売など、各コーナーでにぎわっていましたが、特に「苫小牧おさがり交換会」のコーナーには多くの皆さんが来場していました。

他にも展示や実演・体験の各コーナーで、多くの皆さんが楽しまれていましたが、「大変勉強になった」という声もありました。

協賛・協力、出展団体

出展16団体、出店5団体、協賛・協力6団体の計27団体の皆様にご協力いただきました。誠にありがとうございました。